

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期  
「自動運転（システムとサービスの拡張）」における  
東京臨海部実証実験の概要について

---

# 東京臨海部実証実験の概要

## 1. 主催

SIP第2期「自動運転(システムとサービスの拡張)」推進委員会

## 2. 実施の目的・趣旨

- 信号情報をはじめ、車両プローブ情報を活用した車線別渋滞等、他事業者の有する情報を活用した気象、緊急車両等、公衆広域ネットワークにより配信される交通環境情報を活用した協調領域における自動運転技術の検証
- 交通インフラや公衆広域ネットワークを活用した実証実験の機会や場、必要な実証用機器等の提供により、我が国における研究、技術開発を活性化
- オープンな場でより多くの目で評価し、今後の研究開発にフィードバック
- 海外メーカー等を含め、国内外に参加を呼び掛け、国際標準化、更なる産学官協調を促進。また、社会受容性の醸成等に貢献

## 3. 実施スケジュール

（ 2021年3月25日（本日） 参加募集（公募）  
2021年秋頃～2022年度末 実証実験を実施  
（詳細な実施時期は別途） ）

## 4. 実施予定エリア

- ① 臨海副都心地域（一般道）
- ② 羽田空港地域（一般道）
- ③ 羽田空港と臨海副都心等を結ぶ首都高速道路（一般道を含む）

## 5. 参加者(想定)

国内外の自動車メーカー、部品メーカー、大学・研究機関 等  
(持込車両、試験要員、車両保険等の経費は参加者が負担)

## 6. 主な実施内容

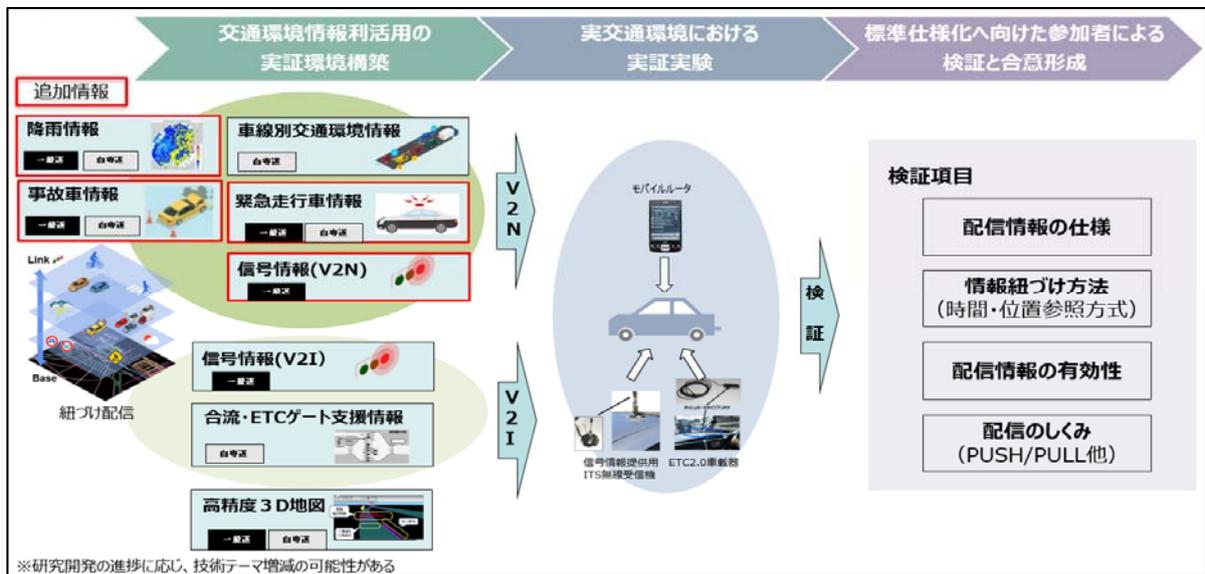
### 【新たに提供する実証実験環境】

	提供する実証実験環境 (予定)	参加者に期待する実証内容 (例)
臨海副都 心地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆広域ネットワーク(V2N)を活用した以下の情報提供環境 等</li> <li>○信号情報</li> <li>○車両プローブ情報を活用した車線別渋滞、交通規制、落下物情報(首都高速道路のみ)</li> <li>○他事業者の有する情報を活用した気象、緊急車両、事故車に関する情報 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通環境情報の先読みによる、円滑な自動運転に対する有効性の検証</li> <li>・V2Nにより配信される信号予定情報での現示灯色判定、灯色遷移タイミング先読み判断への有効性についての検証</li> <li>・V2IとV2Nによって得られる情報の有効性、用途等に関する比較検証</li> </ul>
羽田空港と 臨海副都 心等を結ぶ 首都高速 道路		

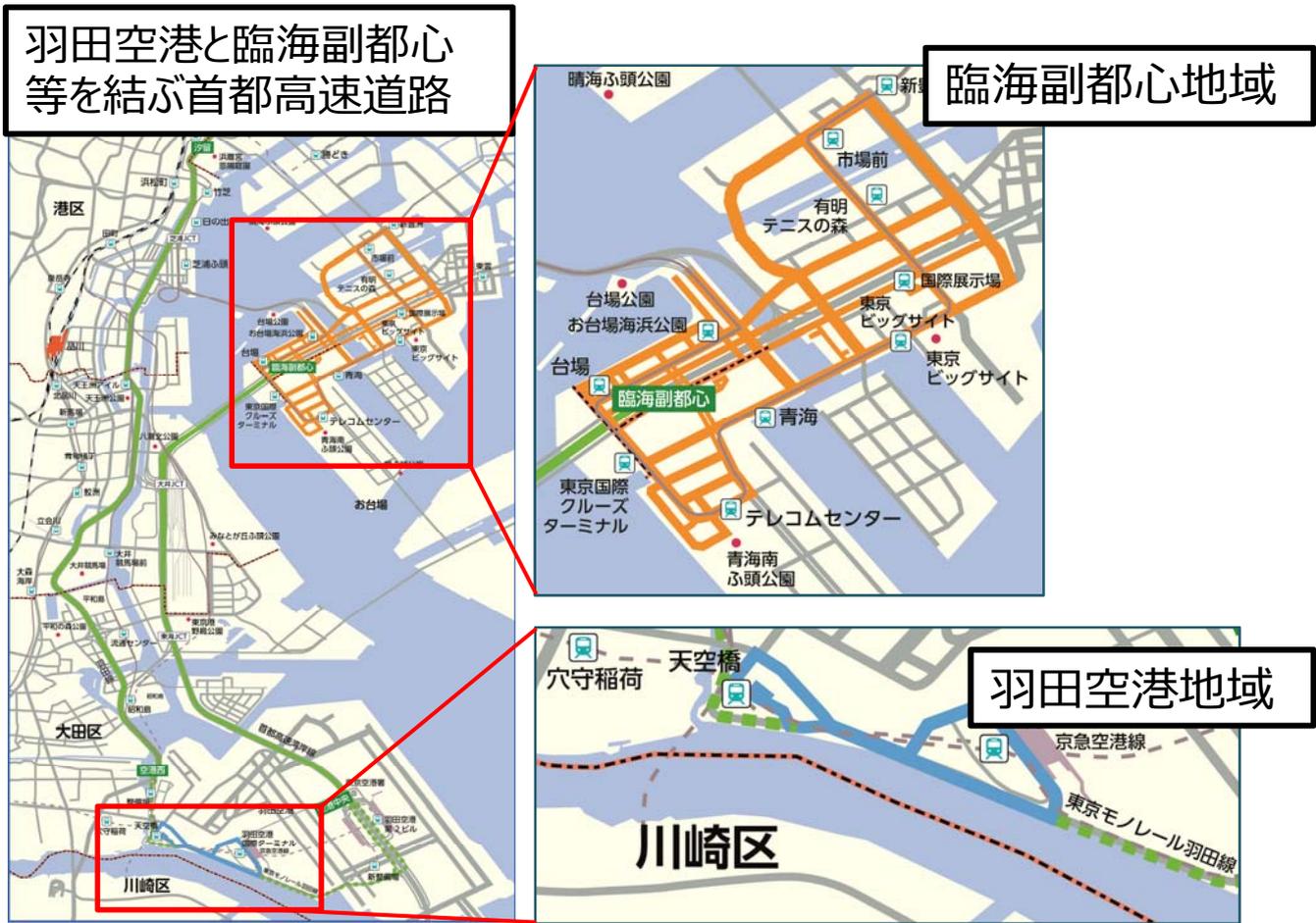
### 【継続して提供する実証実験環境】

	提供する実証実験環境
臨海副都 心地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号(ITS無線路側機)からの信号情報提供環境</li> <li>・高精度3次元地図 等</li> </ul>
羽田空港 地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号(ITS無線路側機)からの信号情報提供環境</li> </ul>
羽田空港と 臨海副都 心等を結ぶ 首都高速 道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合流支援情報提供環境</li> <li>・ETCゲート情報提供環境</li> <li>・車線別交通環境情報提供環境</li> <li>・高精度3次元地図 等</li> </ul>
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車載機(信号情報、合流支援情報等)(希望者のみ)</li> </ul>

## <実施概要>

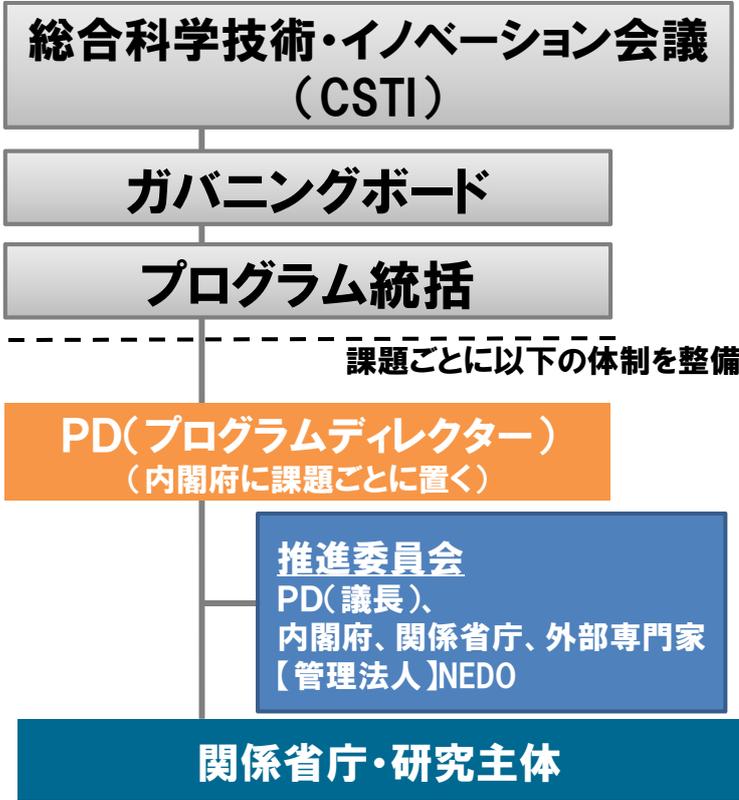


## <実施予定エリア>



# 〔参考〕SIP自動運転（システムとサービスの拡張）

## ＜実施体制＞



- SIP 自動運転  
(略称：SIP-adus)  
Cross-Ministerial  
Strategic Innovation Promotion Program  
Innovation of Automated Driving  
for Universal Services
- 研究開発予算等  
令和3年度：31.2億円  
〔PD取りまとめの下、関係省庁  
(警察庁、総務省、経産省、国交  
省、他)等が連携して推進〕

## 「自動運転」プロジェクト

